



SIMOT Research Center NEWSLETTER

No.21 2007.6



東京工業大学 インスティテューショナル技術経営学研究センターニューズレター

目次

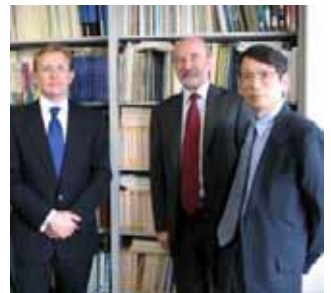
	ページ
● イベント報告	
ケンブリッジ大学科学革新政策調査ミッションの来訪	2
次世代組織構築に向けたテレワーク導入効果に関する実証分析	2
● 海外活動報告	
IAMOT 2007 - 若手研究者国際会議現地研鑽	2
韓国科学技術政策研究所創設20周年記念国際シンポジウム	2
● トピック	
スーパードクタートラック	3
● イベント予定	
第5回 Inter-COE シンポジウム	4
研究・技術計画学会 国際問題分科会 7月例会	4
● 連絡先	4

東京工業大学では、21世紀COEプログラム「インスティテューショナル技術経営学 (SIMOT)」遂行の中核センターとして、「インスティテューショナル技術経営学研究センター (SIMOT リサーチセンター)」を設置いたしました。
同センターの研究内容・活動を、広く内外に知っていただくことを目的に、毎月 SIMOT リサーチセンターニューズレターを刊行しております。

■ イベント報告 ■

ケンブリッジ大学科学革新政策調査ミッションの来訪 (2007年5月28日 東工大 西9号館)

英国では、昨年11月、セインズベリ貿易産業省・科学イノベーション担当大臣の辞任に際し、「セインズベリレビュー」と銘打つ科学技術政策の見直し提言が行われることになり、その中心となる「グローバルizm下における製造業のイノベーション」の研究について、ケンブリッジ大学のマイク・グレゴリ教授 (Head of Institute for Manufacturing) に委託されました。同教授は、命を受け、精力的にG8及びBRICs諸国を訪問し、各国の現状や政策の調査にあたり、日本においては、文部科学省・経済産業省及びトヨタ・京セラ等の企業を歴訪するとともに同僚のティム・ミンシャル教授を伴い本センターの渡辺センター長を訪問し、SIMOTの着想・取り組み及び日本の製造業の再活性化の状況等について、2時間にわたり熱心に意見交換しました。先方は、特にイノベーションをインステイテューションと共進する対象として捉えるSIMOTの着想に刺激を受けました。日本の製造業においても、その本来的強みとデジタル技術の融合により共進化メカニズムを取り戻した企業群と、それに乗り遅れた企業群が2極化しているとの分析に刮目し、ぜひその教訓をセインズベリレビューに織り込みたいという希望を述べられました。両先生は爾後のタイアップを約しつつ次の訪問先に向かわれました。



次世代組織構築に向けたテレワーク導入効果に関する実証分析 (2007年5月28日 東工大 百年記念館)



今次例会では、キヤノン(株) 企画本部開発戦略企画課 課長の佐堀大輔氏に、「次世代組織構築に向けたテレワーク導入効果に関する実証分析」とのテーマで講演していただきました。近年、グローバル化、情報化等、企業を取り巻く経営環境の変化に伴い、それらへの迅速な対応を可能とする組織モデルへの変革が求められています。佐堀氏は、新しいモデルのひとつとして、テレワークを活用する組織を提唱し、次世代組織への移行における課題・運営指針のヒントを示されました。次世代組織構築へのテレワークを通じた取り組み事例研究は、次代の社会経済に適した技術経営の方向性を模索するSIMOTの視点とも共通項が多く、建設的な議論が展開されました。



■ 海外活動報告 ■

IAMOT 2007 若手研究者国際会議実地研鑽 (2007年5月14-18日 マイアミ)

国際MOT学会 (IAMOT) の主催で開催された国際会議「IAMOT 2007 16th International Conference on MOT」にセンター長の渡辺千仞教授およびスーパー Doktor 2名を含むSIMOT若手研究者6名が参加、研究発表を行いました。世界45カ国からの400を超える投稿の中、厳しい査読を経て選抜された研究者として発表・議論を行うことは、SIMOT若手研究者にとって、大変貴重な体験となりました。



IAMOT 会長タレク氏を囲んで

韓国科学技術政策研究所創設20周年記念国際シンポジウム (2007年5月31日 韓国 ソウル)

韓国科学技術政策研究所 (STEPI) は、創設20周年を記念して、ソウルで「イノベーション再考」をテーマとする国際シンポジウムを開催しました。シンポジウムには、日・米・仏・豪・スエーデン・ウルグアイの専門家が招請され、イノベーションと、経済成長・雇用創出・所得分配・社会福祉の4課題について、基調講演及びパネルディスカッションが行われました。

イノベーションと経済成長では渡辺センター長が基調講演を行い、SIMOTの取り組みを軸に、過去半世紀の日本の経済・技術の盛衰のダイナミズムを紹介し、予定時間をオーバーするほどの活発な討議を喚起しました。



トピック

スーパードクタートラック

高度実践性・学術性、柔軟な構想力・企画力を有する世界に通用する若きリーダーを輩出することを目的に、SIMOT では、優秀な博士課程学生を対象とした重点的教育支援プログラム「スーパードクタートラック」を2006年4月より開設しております。スーパードクターに選ばれた学生は、3年間の標準課程を2年に凝縮した研究・教育の他、年間最大200万円の研究支援、海外研修支援等を受けることができます。また、続くセクションで紹介する会合をはじめ、彼らはSIMOTに関わる教育・イベント等に対する企画・運営へ積極的に参加、日々、SIMOTの教育研究を自律的に実践しております。

スーパードクターの標準的活動記録 - 大内紀知 (SIMOT スーパードクター1期生) の場合

1年目

まず、4月よりSIMOT中核講義「インスティテューショナル技術経営」を受講。授業・議論・プレゼンすべてを英語で行う本講義を通じて、SIMOTに通暁した世界に通用するリーダーへの一歩を踏み出します。

SIMOT 中核講義



研究発表会



国内学会参加



これらの経験を生かすべく、11月から3ヶ月間、オーストリアのIIASA (国際応用システム分析研究所: International Institute for Applied System Analysis) にて海外研修を実施。世界中から集まった最先端研究者との研究・議論を通じて自身の研究を発展させるとともに、海外の研究者達との緊密なネットワークを構築しました。

海外研修 オーストリア



学生主導国際ワークショップ



SIMOT 国際ワークショップ



2月末の学生主導ワークショップ、3月末の本分野最先端研究者を招聘してのSIMOT国際ワークショップ等にて、以上の成果を発表する機会が与えられました。

2年目

国際学会1 - 米国



国際学会2 - ポーランド



共同研究者訪問



2年目には、海外学会により積極的に参加するとともに、1年目に構築した海外研究者とのネットワークを深化させることを目的に、海外研究者訪問・招聘を行っています。

以上をテコに、博士論文の加速的完成を目指して邁進中です。

他メンバーの活動例 国内外研修

北原知就： 統計数理研究所 (2007年1月～6月)

荻久保瑞穂： Bloomberg L. P. (英国) (2007年6月25日～9月)

森山幸司： KAIST (Korea Advanced Institute of Science and Technology) (韓国) (2007年9月予定)

自律的教育・研究実践活動 - SiDi

スーパードクターのメンバーは、個々の活動の他、毎週会議を行い、SIMOTの活動や授業に対して様々な提案をしています。このスーパードクターの会は「SiDi (シディ)」と名付けられました。スーパードクターを表すSDと、Innovation, Institution, Information, identity, integration, impact, Eyeなどを表すiを組み合わせた。iを間に挟むことで、InnovationとInstitutionが共進化し、ドクターも進化していくという意味もこめられています。今後も更に積極的にSIMOTの活動に対してインパクトのある提案を行っていく予定です。

■ 最近の動き ■

● 海外出張

- 渡辺 6月3日～6日 中国 (大連理工大学招待講義)
 6月9日～13日 フィンランド (EUROGEN2007 国際シンポジウム招待基調講演)
- 伊藤 6月23日～7月2日 ノルウェー デンマーク (ESREL2007 国際会議)
- 飯島 6月8日～11日 中国 (IC SSSM'07)
 7月4日～8日 ニュージーランド (アジア太平洋地域情報システム国際会議 PACIS2007)
- 妹尾 7月4日～8日 ニュージーランド (アジア太平洋地域情報システム国際会議 PACIS2007)
- 梅室 7月25日～27日 中国 (Human-Computer Interaction International 2007)

■ イベント予定 ■

第5回 Inter-COE シンポジウム

- 日時 8月3日(金) 13:00～17:00
 場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 3階311講義室
 テーマ 10代起業家が仕掛ける「常識」への挑戦
 - 君たちに伝えたいこと -
 講師 家本賢太郎 株式会社クララオンライン社長
 藤田志穂 シホ有限公司 G-Revo 社長

研究・技術計画学会 国際問題分科会 7月例会

- 日時 7月30日(月) 18:00～20:00
 場所 東京工業大学 百年記念館 第1会議室
 テーマ 「私の米国トーク番組体験記 - インスティテューショナル技術経営学への示唆」
 講師 野口 宣也 日本商品清算機構 専務取締役、前日本 IBM 執行役員、元 JETRO ニューヨーク事務所長

● ● 発行 ● ●



東京工業大学 21世紀 COE プログラム
 「インスティテューショナル技術経営学」 SIMOT 事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-51
 東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻内
 西9号館 208B号室
 TEL: 03-5734-2936 FAX: 03-5734-2250
 Email: yoshino.m.ad@m.titech.ac.jp
 URL: <http://www.me.titech.ac.jp/coe/index.html>
 編集者: 菊池 隆